

# 第1学年道徳学習指導案

日時：平成22年9月28日（火）

指導者：佐賀県教育センター

所員 中村 純一

1 主題名 誠実 1-(3)

2 資料名 「二丁目の自動販売機」(出典：『かけがえのないきみだから』学研)

3 主題設定の理由

○ ねらいとする価値について

中学生になると、自我に目覚め、自主的に考えて行動できるようになる一方で、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されたり、自分自身にかかわる行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかを深く考えることができなかつたりする面も見られる。

実際の社会においては、何が正しく、何が間違っているのかを自ら判断して望ましい行動をとらなければならない。よって、善悪の判断を正しく行い、悪いことは悪いときちんと言える良心の存在に気付かせ、人間としての誇りをもった、責任ある誠実な行動がとれるように指導することは、意義深いことだと考える。

○ 生徒の実態について

小学校を卒業して半年が過ぎたこの時期の中学1年生は、学級や部活動で築かれた新たな人間関係の中で、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されてしまうことも少なくない。また、先のことを考えず行動してしまうこともある。

中学1年生の中には、クラス全体の雰囲気によって左右されて、物事の善悪を正しく判断し、誠実に行動することに恥ずかしさを感じる生徒も出てくることがある。こうした時期に、誠実に行動することの大切さをクラス全体で考えることにより、誠実に行動することがよりよい生き方につながることを学ぶことは大切である。

○ 教材について

本資料「二丁目の自動販売機」は、主人公である明が友人の長野君と一緒に釣りに行った帰り、10円玉1枚を入れて、本体を棒でたたくとジュースが出てくるという自動販売機についての話である。長野君が10円玉1枚でコーヒーを買ったのを目の当たりにした後、長野君から棒を渡された明が自動販売機の前に立ち、どうすべきか葛藤するという場面で終わる。誰にも見られていないような状況でさえも、悪いことは悪いと正しく判断し、望ましい行動をとることが大切であることを気付かせ、自分の行為の及ぼす結果についても深く考えて行動しようとする態度をはぐくむために適した資料である。

○ 指導について

指導にあたっては、まず、主人公である明が、いけないことだと分かっていることを少しくらいならいいかもしれないという誰もがもつ心の弱さが表れたことに共感させたい。その後、自動販売機の前で棒を手に持ったままの明が判断をする場面で、やってみたい気持ちとやってはいけないという気持ちの間で揺れ動いている点を押さえることで、道徳的価値を自覚させたい。また、棒を持った明が自動販売機をたたくのか、たたかないのかを自分の立場で考える場面においては、新学習指導要領で示された全教育活動で充実する言語活動に関する活動を取り入れる。具体的には、自分の考えをしっかりと道徳ノートに記入させた上で、自分の考えを伝え、グループ内のメンバーの考えを聞くことで意見交換を行い、その後、改めて自らの考えを深めさせる活動である。その活動を取り入れることで、道徳的価値の自覚を深め、善悪の判断を正しく行い、誠実に生きていこうとする態度をはぐくみたい。

4 ねらい

- ・自分の考えを伝え、他人の考えを聞くを通して、自分の考えを深める。
- ・行為が及ぼす結果について深く考え、善悪の判断を正しく行い、誠実に生きていこうとする態度をはぐくむ。

5 指導過程

過程	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 質問に答える。	○「交通ルールやマナーを守らなかったことはありますか。もし、あるならば、そのとき、どんな気持ちでしたか。」	・本時で取り扱う教材と似たような場面を想起させる。
展開	2 教師の範読を聞く。  (1)誘惑に負けそうになっている明について考える。  (2)明が葛藤していることに気付く。  (3)棒を握りしめた明のその後の行動を自分に置き換えて考える。 ア. 自分の考えをまとめる。 イ. グループで意見を交換する。 ウ. 意見交換を踏まえて、再度自分の考えをまとめる。  (4)自分の気持ちと向き合う。	○発問1 「『悪いことかも知れないけど、一回ぐらいは、やってみたい。』と思った明のことをどう思いますか。」 ・いけないと思う。 ・いけないと思うけど、ちょっとは分かる気もする。  ○発問2 「明が自動販売機の前に立ったとき、両手が鉛のように重たくなるのを感じたのはなぜだろう。」 ・盗ってみたいが、なかなかできない。 ・1回ぐらいならいいかと思っているが、いけないことかも知れないと戸惑っているから。 ・盗ってみたい気もするが、もし買ったときにどうなるだろうと考えているから。 ・親友の長野君が教えてくれたから、10円で盗ったほうがいいのかも知れないけど、でも本当にいいのかなと思っているから。  ◎中心発問 「あなたが明なら、その後、自動販売機を棒でたたきますか、それともたたきませんか。なぜそう考えますか。」  <たたく> ・1回ぐらいはいいだろうと思ったから。 ・長野君から棒を渡されたので、いけないとは思っているけど、やめると長野君からいろいろと言われるかも知れないと思ったから。  <たたかない> ・これはいけないことだと思ったから。 ・10円で盗ってしまうと、泥棒になるし、ジュースを売っている人も困るだろうから。  ○発問4 「今日の学習において学んだことで、今後の生活の中で大切にしていきたいと思ったのは、どんなことですか。」 ・いけないことはいけないと言える心。 ・結果を深く考え、善悪の判断を正しく行い、誠実に生きていくこと。	・資料提示の前に、登場人物を紹介し、話の流れを理解しやすくする。 ・誰にでも誘惑に負けそうな弱さをもっていることに気付かせる。  ・道徳ノートを配る。 ・葛藤している明の気持ちを押さえる。  ・グループで意見を交換するために、自分自身の考えを道徳ノートに記入させ、しっかりと発言できるように指導する。 ・意見の交換や話し合いをするときには、事前に決めた話し合いのルールやマナーに従って行う。 ・自分の意見を伝え、他人の意見を聞くことを通して、自分の考えを深めることができたかをワークシートに記入させることで評価する。 ・行為が及ぼす結果について深く考え、善悪の判断を正しく行い、誠実に生きていこうとする態度をはぐくむことができたかを生徒の発言と道徳ノートに書いた内容により、評価する。
終末	3 教師の説話を聞く。		・ねらいとする道徳的価値にまつわる話をする。

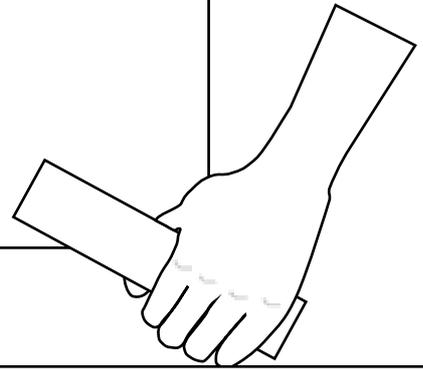
6 評価

- ・自分の意見を伝え、他人の意見を聞くことを通して、自分の考えを深めることができたか。
- ・行為が及ぼす結果について深く考え、善悪の判断を正しく行い、誠実に生きていこうとする態度をはぐくむことができたか。

# 2丁目の自動販売機

年 組：名前 \_\_\_\_\_

①



②

たたく

たたかない

理由

同じ班の人の考え	たたく たたかない	理由
	たたく たたかない	理由
	たたく たたかない	理由
もう一度考えてみよう		
たたく たたかない	理由	

評価：自分の意見を伝えて、他人の意見を聞くことで、自分の考えが深まりましたか？

◎ ○ △ ×

③

## 道徳の時間の切り返しについて

切り返しとは、ねらいとする道徳的価値についての考えを明確化、焦点化させるために、生徒の発言を切り口にして、考えを深めるために行う問いかけ。ねらいにかかわる場面や発言をとらえることが大切となる。

### 今回の授業「二丁目の自動販売機」における切り返し計画表

○発問1『悪いことかも知れないけど、一回ぐらいは、やってみたい。』と思った明のことをどう思いますか。』

いけないと思う。	➡	○絶対に許せない？ ○いけないと思うけど、ちょっとは分かる？	・誰にでも誘惑に負けそうな弱さをもっていることに気付かせる。
----------	---	-----------------------------------	--------------------------------

○発問2「明が自動販売機の前に立ったとき、両手が鉛のように重たくなるのを感じたのはなぜだろう。」

戸惑っている。 悩んでいる。 迷っている。	➡	○どうして悩んでいるの？ ○悩みながら、どんなを考えているんだろう。	・行為が及ぼす結果について考えるきっかけをつくる。
10円で買おうと……	➡	○10円で「買う」の？これって「買う」なのかな？	・「盗る」という行為であることに気付かせたい。
長野君との友情を考えると……	➡	○長野君の存在は大事？ ○その友情って本当の友情なの？	・葛藤している理由に友情を考えている場合、それは本当の友情ではないことに気付かせる。

◎中心発問「あなたが明なら、その後、自動販売機を棒でたたきますか、それともたたきませんか。なぜそう考えますか。」

長野君との友情を考えると……	➡	○長野君の存在は大事？ ○その友情って本当の友情なの？	・葛藤している理由に友情を考えている場合、それは本当の友情ではないことに気付かせる。
<たたく>という回答のとき	➡	○たたいたときにはどんなことが起こる？ →ジュースが出る。 ○ジュースが出てくるって、これっていいこと？ →いけない。泥棒だから。 ○そうしたら困る人って誰がいる？ →お店の人。 ○何で困るの？ →損をするから。お店が続かなくなる。	・たたいて、ジュースを盗ることにより、どんな結果になるのかを考えさせる。また、そうなることで、どんな人が困るのかも合わせて考えさせる。
1回くらいはいいだろう。	➡	○1回なら許されること？ ※<たたく>という回答のときと同じように聞く。	
<たたかない>という回答のとき ・いけないと思うから。	➡	○どうしていけないんだろう。1回くらいならいいんじゃない？	・たった1回であっても、その行為によって、困る人が出てくるということに気付かせるために、ゆさぶりをかける。
<たたかない>という回答のとき ・泥棒になるし、売っている人も困るから。	➡	○売っている人が困るといっても、少し損をするだけだから、いいんじゃない？	・ものの程度ではなく、10円で盗るという行為は人が損をするような行為だということに気付かせるために、ゆさぶりをかける。

補助発問 ○中心発問の後 → 「たたく」か「たたかないか」かを判断するとき、まず何を考えた？その次は？		善悪の判断をするときに、行為が及ぼす結果について考えることの大切さに気付かせたい。
--	--	---